

2023年度日系社会研修修習コース一覧

研修センター	実施形態	修習年度	区分	No.	分類	研修科目 和文	研修科目 英文	人数	入 上 下	未 日 日	修 了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	現業・資格・知識	学歴	経験 年数	年齢	日本語 能力	英語 能力	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
12	横浜	集団	有	継続	C12	その他	着物を通じた日系社会活性化	6	下	11/5	12/22	公益財団法人海外 日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・このコースで習得したことを日系団体や日系コミュニティの活性化に活かす意欲を持つ 方 ・着付け及び縫製の経験のある方 ※限られた実習時間内で浴衣の縫製を十分に習得するために、基本的な縫製技術を身につけていることが必要です。研修申請時に、手縫い縫製(着物以外でも可)について必ず記述してください。 ・経験年数3年以上(「着物」に関わった経験) □	不問	必要 資格に 記載	不問	不問	不問	不問	研修員が、着物に関する一般的知識並びに活用・普及および管理・保存に関する知識、技術を習得する。□	1. 研修員に、着物に関する一般的知識(歴史、役割、素材等)が習得される。 2. 研修員に、着物の活用・普及に関する知識、技術が習得される。 3. 研修員に、着物の管理・保存に関する知識、技術を習得される。□	1. 着物に関する一般的知識(歴史、役割、素材等)の習得 【講義】着物の歴史/思想と装法・種類/帯・小物の役割/着物の地方性・素材・装身など 【演習】着物の構造/染色体験など 【観察】染色工場/和装博物館/和装小物美術館/織物・染物会館など 2. 着物の活用・普及に関する知識、技術の習得 【講義】日本文化の基礎知識/着物の文化の背景/着物文化をビジネスに活かす/着物関連イベントの企画・運営など 【演習】着付け/着物のマナー/風呂敷活用法など 【観察】西陣織会館/きものショー/着物活用法ビジネス現場など 3. 着物の管理・保存に関する知識、技術の習得 【講義】和装・柄合わせとは/和紙文化と防湿・防虫・防虫・虫干・畳み方/着付けメンテナンス 【演習】運針/採寸/見直し/縫ち切り・へら付け/浴衣製作/かけ袴の付け方/修理技法 【観察】洗い張り/染み抜き修復工房□	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて、スペイン語またはポルトガル語の選択を随時予定。□
13	横浜	集団	有	継続	C13	民間セクター開発	改善と5S	10	上	6/18	7/21	一般財団法人日本 国際協力センター	Japan International Cooperation Center	https://jiice.org/	西田 喜美子	NISHIDA Kumiko (Ms.)	nikkei@jiice.org	製造業に従事することが望ましい。職歴経験は大学卒業後3年以上を有する者。	大学卒業 程度	3	不問	不問	日本語または英語で読み、書き、話すことができること□	日本語または英語で読み、書き、話すことができること□	研修員が、「改善」と「5S」の考え方を理解し、問題の解決、向上に向けた実践的なスキルと活動を展開するためのアプローチを習得し、現状を改善するためのアクション・プランを作成する。□	1.改善及び5Sの考え方や産業における応用 2.製造現場における改善のアプローチについて理解する 3.5S活動の進め方について理解する 4.問題解決手法を習得する 5.アクション・プランを作成する□	講義:トヨタ生産方式、5S活動の進め方、問題解決の進め方 演習:生産現場における5S、生産管理、問題解決演習、問題・目標分析、アクション・プラン作成 見学:製造業を中心とした企業訪問 発表:ジョブ・レポート発表、アクション・プラン発表□	
14	横浜	集団	有	継続	C14	民間セクター開発	起業・後継者のための経営力強化	10	上	5/7	6/9	一般財団法人日本 国際協力センター	Japan International Cooperation Center	https://jiice.org/	西田 喜美子	NISHIDA Kumiko (Ms.)	nikkei@jiice.org	起業した経営者或いは具体的な構想をもって起業しようとする者及び事業後継(予定)者。当該事業分野における実務経験で大学卒業後5年以上を有する者。	大学卒業 程度	5	不問	日本語または英語で読み、書き、話すことができること□	日本語または英語で読み、書き、話すことができること□	研修員が、事業運営に必要な知識やスキルを習得するとともに、経営者としての役割や社長の継承、拡大の構想を明確にし、具体的な実現可能性のある事業計画書を作成する。□	1.経営者として、事業の継続・拡大に向けた自身の役割と責任を自覚するようになる 2.経営管理のノウハウと分析手法を習得する 3.マーケティング戦略と手法を習得する 4.財務の知識とスキルを習得する 5.事業計画を策定する□	講義(演習・事例紹介を含む):中小企業の経営革新の取組み、経営管理のポイント、事業計画の作成(中小企業診断士)による個別相談、問題解決フレームワーク、経営環境分析、損益計算分析 企業訪問:参加者の業種・業態に応じて選定。 事業計画書作成(中小企業診断士)による個別相談を含む。 発表:ジョブ・レポート、アクション・プラン□		
15	横浜	集団	有	継続	C15	その他	日本文化活動コーディネーター育成(応用)	6	下	11/5	12/15	公益財団法人海外 日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系日本語学校または日系団体のイベント企画運営実務または日系団体幹部、役員など	不問	3	不問	不問	不問	研修員(日系団体幹部・役員または日系団体のイベント企画運営において責任ある立場を有する者。以下、同じ)に、日本伝統文化に関する知識が深められ、文化指導の実践方法が習得される。 2.研修員に、様々な日本文化活動事業に関する知識を深め、継承および普及のための企画実施方法が習得される。 3.研修員が、日本文化活動を、ビジネス的手法を用いた普及、実践方法が習得され、持続可能な団体運営計画を作成する。□	1.講義:日本伝統文化、ポップカルチャー論、各国日系団体事情、イベント企画手法、日本文化紹介手法、ソーシャルビジネス論、BPOを活用した事業分析、新規事業計画作成等 2.実習・体験:問題解決手法、ファシリテーション手法、広報活動手法(ファンディング)、日本文化体験等 3.見学:日本の歴史・文化関連施設、文化系・教育系NPOの活動、カルチャーセンター、日本文化ビジネス施設(体験、販売)等 4.発表:研修最終日□	原則、日本語で実施。スペイン語又はポルトガル語の選択を随時予定。□		
16	横浜	集団	-	新規	C16	自然環境 保全	環境教育指導者養成研修	12	下	1/8	1/30	公益財団法人 キョソト協会	Kiyosato Educational Experiment Project, Inc.	https://www.keep.or.jp/	鳥屋尾 健	TOYAO Takeshi (Mr.)	t.toyao@keep.or.jp	環境系、教育系いずれかの大学またはそれに準ずる学校の卒業生が望ましい。□	高校卒業 程度	不問	不問	不問	不問	研修員が環境教育指導者(インタープリター)として、必要な基礎技術と知識を取得する。□	1.講義:環境教育概論、インタープリテーション概論、展示・教材、プログラムデザイン、体験学習法、エコツーリズム概論、コミュニケーション、プログラムのデザイン等)の基礎知識を理解する。 2.フィールドワーク:環境教育現場をフィールドとして、必要に応じて、自然環境の現場で環境教育プログラムを行うことができる。□	1.講義:環境教育概論、インタープリテーション概論、展示・教材、プログラムデザイン、体験学習法、エコツーリズム概論、コミュニケーション、プログラムのデザイン等)の基礎知識を理解する。 2.フィールドワーク:環境教育現場をフィールドとして、必要に応じて、自然環境の現場で環境教育プログラムを行うことができる。□	本コースはスペイン語の研修監理員(通訳)配置予定	
17	横浜	集団	-	継続	C17	農業開発・農村 開発	次世代の農業を担い革新を起す人づくり(スマート農業、フードバリューチェーン、「道の駅」等を活用した地域ブランディング振興策)	10	下	10/1	11/6	株式会社 自然塾 寺子屋	Global Agriculture Crossroad TERRAKOYA, Inc.	https://terrakoya.or.jp/	森 栄梨子	ERIKO Mori (Ms.)	eriko.mori@terrakoya.or.jp	農業や地域振興に関わる人□	高校卒業 程度	3	不問	不問	不問	研修員が、自身の農業経営強化や地域農業活性化に向け①スマート農業、②フードバリューチェーン、③「道の駅」等を活用した地域ブランディング振興策について知識を習得する□	1.スマート農業、農業のIoT/ICT デジタルテクノロジーを活用した農業生産・事業展開等についての事例等を通じて、スマート農業、農業のIoT/ICTについて先端技術の活用について知見を深め、経営強化のための生産事業(安定品質、安定コスト、安定生産)の重要性を理解する。 2.フードバリューチェーン 農産物の生産から流通、販売まで付加価値を付与して商品価格を最大化させるマーケティング型の生産・加工事業事例や、各プレイヤーの役割やトレーサビリティ等の取り組み事例を通じて持続的な農業経営について戦略を策定する。 3.「道の駅」、地域ブランディングを活用した地域振興策 地域活性化のため、農作物直売所、観光拠点、地域公民館等自治体が地域のニーズに合せて、元存在したソーシャルキャピタルをつなぐ場としての「道の駅」について、各地の取り組み事例や討論を通じ、自らの地域での取り組みについて方策を検討する。□	本プログラムは、さまざまな実践者や現場を訪れ多様な視点を得ることができることが特徴とし、 1.講義 ・スマート農業 (IoT/ICTを活用した研究と普及:JIRCAS) ・スマート農業II (IoT/ICTを活用した農業導入事例等及び中農米における可能性) ・認証制度、グローバルGAP、トレーサビリティ等の取り組みによる持続的な農業経営 ・若手農業者のネットワーク化による人材育成の事例(群馬県フロンティア育成会) ・「道の駅」を活用した地域振興策(各地の取り組み事例等) 2.実習・調査 ・多様な農産物流通(フードバリューチェーン)による持続的な農業経営 ・次世代農業リーダー、農業女子との意見交換会 ・「道の駅」の多様な活用事例 ・ワークショップ(ナレッジマネジメント) 3.見学 ・スマート農業I(研修機関:農研機構) ・スマート農業II(民間企業:E-kakashi) ・スマート農業III(農家:IoT/ICTによるスマート農業を導入した先進農家) ・環境制御型農業 ・多様な流通経路 ・農業生産法人(民間農産物流通) ・次世代農業リーダーの活躍とアグリビジネス ・農業協同組合(組織強化、市場流通、販売促進、産地形成、共同出荷) ・「道の駅」の多様な活用事例(農産物直売所、観光拠点、体験教育型、公民館機能) 4.発表:ジョブレポート発表、アクションプラン発表等□		
18	横浜	集団	-	新規	C18	その他	キューバ日系社会活性化	6	上	5/7	6/2	公益財団法人海外 日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	キューバ(国)の日系団体に所属しているか、日系団体の活動や運営に積極的に参加している ※近年の日系団体においては日本の文化習慣に関心を持つ非日系人(移住者)の増加が認められ、日系・非日系を問わない。□	不問	3	不問	不問	不問	1. 団体運営に関する知識と運営に関する手法を身に付ける。 2. 日本人移住、日系社会に関する歴史資料の価値を理解し、資料の収集や保存に関する知識、技術、資料の活用方法を身に付ける。 3. 日本文化に関する基礎知識及び日本文化普及促進のための技術を身に付ける。□	研修員に、団体運営に関する知識と運営に関する手法が習得される。 研修員に、日本人移住、日系社会に関する歴史資料の価値を理解し、資料の収集や保存に関する知識、技術、資料の活用方法を身に付ける。 研修員に、日本文化に関する基礎知識及び日本文化普及促進のための技術を身に付ける。□	【講義】 日系団体の役割/各国日系団体活動事例/日本人移住の歴史とニッキー・アイデンティティ 日本文化・年中行事/イベント運営の方法/教室運営 歴史資料の収集の意義/ICT技術を活用した歴史資料の展示/移住誌編集の方法/教育プログラム作成方法 人的リソース活用方法 【演習】 伝統文化体験/歴史資料の収集・保存の方法/イベント運営の方法 ファシリテーション法/ファンディング手法/NPO申請書/DMC演習 【観察】 移住関連施設・団体視察/日本文化関連施設視察□		
19	横浜	集団	-	継続	C19	その他	食を通じた日系団体活性化	6	上	5/7	6/9	公益財団法人海外 日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体青年部等に所属し、諸活動に積極的に参加している者(婦人部員を対象とした類似コースを別に実施しているため、それ以外の団体、部署に所属している者を優先する。□)	不問	1	不問	不問	不問	研修員が、食を通じた地域活性化のための日系団体活動に関する知識を習得する。□	1. 研修員に、日本食を中心とした調理技術が習得される。 2. 研修員に、食を通じた特産品の開発、地産地消し等の地域活性化に関する知識が習得される。 3. 研修員に、所属団体が抱える課題解決手法が習得される。□	1.講義:日系社会と日系団体活動、日本の非営利活動等 2.実習:調理実習等□		
20	横浜	集団	-	継続	C20	教育	日系継承教育(教師育成)	6	上	6/18	7/26	公益財団法人海外 日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師(継承教育を実践する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・原則、日系継承教育(教師育成)コースを受講した者 ※上記コースを受講経験がない者でも経験年数7年以上または経験年数700時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可(教師育成Ⅱ修了レベルもしくは、中級クラス研修生は担当予定者) ※中堅教師のレベルアップを目的とするため、相当程度の実務経験が必要 ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(初中級の指導指導を目標とするため、それ以上の日本語能力が必要)□	不問	必要 資格に 記載	不問	N2	不問	研修員が、継承教育に関する知識(ことば、文化、歴史(移住学習を含む))および指導技術を習得する。□	1. 研修員に、日系継承教育に関する知識を習得される。 2. 研修員に、初中級及び中級レベルの指導者としての指導能力を身に付ける。 3. 研修員に、学校運営や人材育成に関する基礎的な知識が習得される。□	1.講義: ①日系継承教育に関する知識の習得 継承教育と地域・社会(移住学習(教材開発)、ことばと教育(実践コミュニティ)など) ②初中級及び中級レベルの指導に関する知識および技術の習得 初中級及び中級レベルの日本語教授法(中級指導法、教育ICT活用法、アクティブラーニングなど) ③学校運営や人材育成に関する基礎的な知識の習得 日系日本語学校運営の基礎知識、人的資源管理、ファシリテーション手法、評価法など 2.視察:公立校、都内日本語学校、教育系NPO、日本文化施設など 3.演習□		

2023年度日系社会研修研修コース一覧

研修センター	実施形態	研修年度 開講時期	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	人数 受講 上 下	未 日 日	終了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験 年数	年齢	日本語 能力	英語 能力	①目標	②成果	③計画(内容)	備考		
21	横浜	集団	-	継続	C21	教育	日系継承教育(教師育成 I) 口	Nikkei Heritage Education Teachers Training I) 口	6	上下	12/3 (9) 通修 講義開始	2/8	公益財団法人海外 日本人協会 口	The Association of Nikkei & Japanese Abroad 口	https://www.jadesas.or.jp	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 (継承教育を実施する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・経験1~3年程度または教授時間300時間程度 ※上記以上の経験年数または教授時間であっても、本コース受講経験がない場合は応募不可。 ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(全講義、日本語で実施されるため) 口	不問	必要 資格に 記載	不問	N3	不問	研修員が、継承教育に関する基礎的な知識(言葉、文化、歴史(移住学習を含む))及び指導技術を習得する。 口	1. 研修員に、継承教育を担う教師としての基礎知識(通修:ブラジル日本語センター) ①日本語能力試験N2相当レベルの日本語力の習得 ②日本語文法、教授法等の専門用語の理解 ③継承教育資料及びブレンドコンテンツ制作のための基礎的技術 ※日本語能力試験N2以上取得者は②のみ。 ④継承教育・言語(発達)教育の基礎理論 ⑤継承教育と人形成(日系継承教育の考え方、日本の歴史と移住の歴史) ⑥継承教育と文化 ⑦継承教育と文化活動(日本語学校と文化活動、日本文化体験・伝統文化と現代文化) 2. 観察:公立校、移住関連施設、日本文化施設など 口	・本コースは来日研修前10月より通修教育を実施する予定です。 ・応募締切は6月末日コースの締切日です。	
22	横浜	集団	-	継続	C22	教育	日系継承教育(教師育成 II) 口	Nikkei Heritage Education Teachers Training II) 口	6	下	12/3	1/25	公益財団法人海外 日本人協会 口	The Association of Nikkei & Japanese Abroad 口	https://www.jadesas.or.jp	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 (継承教育を実施する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・原則、日系継承教育(教師育成 I) コースを受講した者 ※上記コースの受講経験がない者でも経験年数5年以上または教授時間500時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可(初級クラス担当者または担当予定者) ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(初級後半の指導法習得を目標とするためそれ以上の日本語能力が必要) 口	不問	必要 資格に 記載	不問	N2	不問	研修員が、継承教育に関する基礎的な知識(言葉、文化、歴史(移住学習を含む))及び指導技術を習得する。 口	1. 研修員に、継承教育・言語(発達)教育の応用理論 継承教育と思考の方法、言語発達と日本語教育 2. 研修員に、継承教育におけることばに関する知識及び指導技術が習得される。 3. 研修員に、初級コースのコースデザイン方法を習得される。 4. 研修員に、文化的活動の指導計画作成方法及び指導技術が習得される。 口	1. 講義: ①継承教育・言語(発達)教育の応用理論 継承教育と思考の方法、言語発達と日本語教育 2. 継承教育とことば 3. 継承教育と文化 4. 研修員に、文化的活動の指導計画作成方法及び指導技術が習得される。 口	
23	中国	集団	無	継続	C23	その他	日系社会地域資源の保存技術と活用	Preservation and utilization of Nikkei communities' local resources	8	上	7/23	8/11	学校法人 順正学園 吉備国際大学外国 学科	Kibi International University	https://kiui.jp/op/	畠 伊智朗	TAMBO Ichiro (Mr.)	tanbo@kiui.ac.jp	・PCの基礎的な操作(Word, Excel, PPTなど)ができることが望ましい。 ・日系社会の地域活動などへの主催者としての参加経験(企画、コンテンツ作成、運営スタッフなど)が複数あることが望ましい。	不問	不問	不問	N3以上	英語での コミュニ ケーション	研修員が現地日系社会の伝統資源を認識し、修繕、保存、活用に関する必要な知識と技術を習得する。	1. 講義: 1) 地域資源の活用に関する概論、2) 岡山県における地域資源の具体的な活用事例、3) 地域へのインパクト、4) 地域資源の現状評価、5) 評価技術の理論と応用、6) 修復計画の作成と具体事例、7) 修復技術概論、8) デジタル・アーカイブ技術と応用、9) デジタル・ファブリケーション技術(FabLab)の概論、10) FabLabの活用事例と教訓、11) 地域イベントのプロジェクト・マネジメント手法、12) 形式化の技術と応用 2. 実習: 1) デジタル専攻室とを活用した文化財の調査手法、2) 文化財の各種修復現場実習、3) 修復計画作成シミュレーション、4) 修復技術の基礎実習、5) デジタル写真の撮影、6) デジタル・アーカイブ作成、7) FabLabの基本機械(レーザー、カッター、3Dプリンター)と地域資源の複製作成などに関する各種コンテンツ作成、8) 地域イベントのコンテンツ作成で学んだことを形式化手法 3. 視察・見学: 1) 吉備国際大学文化財総合研究センター(高梁市)、2) 備前おさなわ刀剣の里、3) 長島堂正徳歴史館、4) 備前後の展示場(瀬戸内市伊保)、5) 瀬戸内市内・近郊の観光地、6) ライフタウンまび内デジタル工房まび(倉敷市真備)	講師や実習先の都合があり、できれば8/20頃の来日をお願いしたい。(その場合、研修期間は、8/20~9/11となる予定)	
24	四国	集団	有	継続	C24	地域開発	日系ネットワーク強化を通じた地域振興	Regional development through the strengthening of the network among Japanese descendants	6	上	7/23	8/18	高知希望工程基金 会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中 茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	chinatu6732@ybb.ne.jp	日系社会でのリーダー的役割を期待できる人材	不問	不問	不問	不問	不問	①新たな日系ネットワークの構築と強化のアイデアと斬新な発想力を有するマネジメント力を習得する ②ダイバーシティとグローバル社会を意識したネットワークマネジメント力を有する日系社会リーダー育成プログラム ③多様化した日系社会のアイデンティティとナレッジと地域振興プランの具体的なプランを得る ④日系研修青年とローカルユースとの交流をととして日系社会に持続可能な新たなネットワークが構築される	高知で以下を通じた「ダイバーシティ・ネットワークマネジメント」プログラムを研修する。 1. 講義: 「高知県のよきこい祭り」をツールとして地域振興戦略、「青少年グローバルリーダー育成フォーラム」「よきこいで復活した万々商店街物語」「ネットワークでつくるコミュニケーション力」「ダイバーシティにおけるリーダーシップ」「親身にも学ぶネットワーク形成と活用術」「国際交流を通じて青少年育成プログラム」 2. 視察: 高知よきこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館、龍馬の生れた町記念館 3. 実習: よきこい祭り祭り、青少年グローバルリーダー育成フォーラム 4. 発表: 日系社会の現状と報告(カンファレンス)、アクションプラン(研修成果報告) 5. その他: 高知県表紙、高知県議会表紙、ホームページ		
25	四国	集団	無	継続	C25	教育	野球指導者の人材育成	Human resource development of baseball coaches	6	上	5/7	6/7	高知ファイティング ドッグス株式会社	Kochi Fighting Dogs, Inc	https://kochi-fd.com	浅利 章次	ASARI Shota (Mr)	asasho52_kfd@gmail.com	日系社会で野球指導を 精力的に行うことができ る人材	不問	競技 経験が あるこ とが望 ましい	不問	不問	不問	不問	「プロ野球団の練習や指導方法を通じて、野球指導の手法を習得する。 2. 監督・コーチ、選手の選抜や地域での活動を通じ、チーム運営の手法を習得する。 3. 地元少年野球チーム、高校野球チーム、アスリート実業家に係る様々な競技団体に連携し、幼少期から多様なスポーツに接触する機会と手法を習得する。 4. 実業家の活用とチームマネジメントを通じて、私生活からケアできる手法を習得する。 5. 大学連携による課題に向けたアクションプランが作成される。	【野球コーチング・チームマネジメント】研修プログラム 【講義】コーチング論、トレーニング論、スポーツマネジメント論、スポーツ栄養学、メンタルトレーニング等 【視察】高知市立公園球場、地元少年野球チーム、高校野球スクール、高知県軟式野球連盟主催U-10アカデミー 【実技・実習】高知FD公式戦マネジメント、練習参加(ウォーミングアップ・守備練習、打撃練習、打球練習) 【その他】地域の行事、小学校訪問などの地域振興イベントへの参加	
26	四国	集団	無	継続	C26	民間セクター開発	小規模食品ビジネスの開発 (食の安全・調理と管理・ 製品開発と販売促進・ビ ジネスモデル開発のための バックキャスト)	Development of new small food Business (Food safety; preparation and handling; Product development and Promotion; Back-casting for business model development)	14	下	10/1	10/25	香川大学	Kagawa University	http://www.as.kagawa-u.ac.jp/global/2pac_e_id2891	Lutes Peter Gerald	Lutes Peter Gerald	lutes.peter@kagawa-u.ac.jp	資格、食品ビジネス分野の起業家または将来の起業家を考えている者。 食品関連分野における基礎的知識を有することが望ましい。食品ビジネス及び日本の食とフェーズ2)食品に興味のある者。 E) 自己の参加、プログラムの利益と得たものについての自己分析ができる	不問	不問	不問	不問	英語での 資料解 読、発 表、レ ポート作 成可	研修員は以下を習得する。 A) 食品ビジネスのビジネスモデルを作成できる B) 食の安全および関連する問題を理解する C) 食品の品質と安全を確保する D) 食品のマーケティング戦略を立案し、実行する E) 食品の品質と安全を確保する F) 食品のマーケティング戦略を立案し、実行する G) 食品の品質と安全を確保する H) 食品のマーケティング戦略を立案し、実行する I) 食品の品質と安全を確保する J) 食品のマーケティング戦略を立案し、実行する	1. 講義: 成功する食品ビジネス、日本の伝統、ビジネスプレゼンテーションの方法、ビジネス計画、ビジネス計画のデジタルツールとソーシャルメディアの活用、食品の健康的特性、日本のフーズ、会計と小規模ビジネス 2. 実習: 飲食店オーナーとの対話/研修(特徴あるレストランの経営)、現地の食材での健康的なメニューを考案する、など作り、フュージョン料理、フード探索とその報告、食品関連工場見学、プレゼンテーション予行 3. 発表: 研修成果発表(香川大学内またはJICA内)、討議会 4. その他: 高知県の現状と報告(カンファレンス)、アクションプラン(研修成果報告)		
27	四国	集団	無	継続	C27	地域開発・民間セクター開発	Satoumiの推進(持続可能な開発のための海洋・海洋資源の保全と地域振興)	Promotion of SATOUMI (Preservation of Marine resources and rural development through sustainable management)	6	上	7/23	8/11	香川大学	Kagawa University	https://www.kagawa-u.ac.jp/	尾上 能久	ONOE Yoshihisa (Mr)	Onoe.Yoshihisa@kagawa-u.ac.jp	日系社会において地域振興、環境保護、自然保護の経験があることが望ましい。	不問	実務 経験1 年以上	不問	不問	不問	不問	「SATOUMIについて理解する。 ・SATOUMIに関する施策について理解する。 ・瀬戸内海における生物多様性の保全と持続可能な利用の実践事例からSATOUMIの概念を理解し、様々な関係者が協働して取り組む事例を学ぶことにより、自然環境の保全と住民の生活向上の両立という視点から瀬戸内における地域振興を導くための業務に活用される。 ・海洋資源を利用したビジネス、地域振興策を習得する。	1. 日本の事情を習得する。(日本人学生との交流を実施) 2. SATOUMIの概念、歴史及び国家戦略や瀬戸内における瀬戸内の政策、取り組み等の講義。 3. 瀬戸内における地域振興の課題と実際の取り組み状況についての視察および事例研究 4. 海洋資源を利用した起業家との意見交換。 5. 海洋資源を利用した振興事業視察。	
28	四国	集団	無	新規	C28	農業・農村開発/地域開発	地域の食材を活かした農産物加工による商品開発	Product development by agricultural processing utilizing local agricultural products	10	下	1/8	1/29	特定非営利活動法人 グローバル四国	NPO GLOBAL SHIKOKU		河内 正則	KAMAUCHI Masanori (Mr.)	kawa-familyvbm8.tiki.ne.jp	農産物加工に携わる企業・組織の経営幹部、農産物経営者、農産物生産者、農協関係者	不問	実務 経験1 年以上	不問	N4	不問	地域の食材を活かした農産物加工による商品開発のための加工の手法を学び、自国で活用するための実践計画を作成する。	1. 講義・討議: 「香川県における農産物加工の現状」「農産物の加工方法と保存方法」「生産者・加工業者の連携」等 2. 視察・体験: 独自の取り組みを実施している中小事業者4社を研究(ケース・スタディ) ① 食品加工手法 ② マーケティング ③ 新商品開発 ④ 生産と加工の連携 3. 日本文化理解(「さぬきうどんづくり」体験、日本庭園「栗林公園」散策・抹茶体験 4. 演習: 「実践計画」作成 5. 発表: 「実践計画」発表		
29	四国	集団	無	新規(2019実施)	C29	民間セクター開発	日本の経営管理における人材育成	Human resource development in Japanese business management	10	上	7/23	8/15	特定非営利活動法人 グローバル四国	NPO GLOBAL SHIKOKU		河内 正則	KAMAUCHI Masanori (Mr.)	kawa-familyvbm8.tiki.ne.jp	企業経営者・経営幹部、起業家として関心がない経営者、これから起業を考えている方	不問	実務 経験1 年以上	不問	N4	不問	「従業員を育成し、大切に経営」を実践している会社の強みを理解することと「自国企業との差異を認識し、改めて「自社の強み」を明確にすることができる。 ・従業員を育成し、大切に経営」を実践している会社とどこが違うのか、なぜそのような経営が実現にも結び付くのかなどを研修員が理解し、優良企業の「経営管理手法」「人材育成の仕方」など具体的な「即実践可能な経営ノウハウ」を習得し、実践計画を作成する。	1. 講義・討議: 「従業員を大切に経営とは」「経営理念の浸透方法」「人材育成を中心とした経営」を認識される。 2. 視察・体験: 「従業員を育成し、大切に経営」を実践している企業4社を徹底研究(ケース・スタディ) ① 顧客から感謝される経営 ② 人材育成を中心とした生産・品質管理手法 ③ 従業員が働きやすい職場づくり ④ 従業員とのコミュニケーションの取り方 等 3. 日本文化理解(「さぬきうどんづくり」体験、日本庭園「栗林公園」散策・抹茶体験 4. 演習: 「実践計画」作成 5. 発表: 「実践計画」発表		
30	九州	集団	無	継続	C30	民間セクター開発	「和食」ビジネス振興	“Japanese Food” Business Promotion	8	下	11/5	12/1	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp/	山根 慎	YAMANE Makoto (Mr)	yamane@kita.or.jp	日本食品関連の日系企業及び起業家、日本食品関連の日系コンサルタント	大卒程度	3年	特に指定なし	N3	通訳配置 可能性有 教材: 日本語	1. 和食文化・背景を理解し、和食についての広い知識を習得する。 2. ビジネス展開のための実践能力を習得する。 3. 「和食」ビジネス起業・振興のためのアクションプランが作成できる。	1. 日本食品の体験・視察(食材・調味料・味噌・醤油等、日本料理一郷土料理・農産物等) 2. 日本食品関連経営、事業家能力向上に関する講義(農業の六次産業化、日本型経営、顧客満足経営、人材育成・コーチング、経営・マーケティング戦略、産学連携) 3. 他 日本食品関連の調査・視察(北九州市場調査、食農、食品品利用等)		

2023年度日系社会研修修習コース一覧

研修センター	実施形態	修習年度	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	人数 受入 上下	来日 日	終了 日	提案団体	提案団体 英語表記	研修団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	職業・資格・知識	学歴	経験 年数	年齢	日本語 能力	英語 能力	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
九州	集団	無	継続	C31	民間セクター開発	日本のモノづくり技術	"Monozukuri" Technology at Japanese Manufacturing Site	8	下	1/8	2/1	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp/	鳥飼 久敏	TORIKAI Hisatoshi (Mr)	torikai@kita.or.jp	(日系)製造企業、業界団体所属している製造管理・監督者、普及指導者	大卒、専門学校卒	3年	特に指定なし	N3	通訳配置可能性有 教材:日本語・英語・ポルトガル語	1. 日本のモノづくりの要件を理解する。 2. 日本の品質管理、生産性管理技術や方法を習得する。 3. 日本の生産性向上のための戦略的計画が策定される。	1. 講義: 日本のモノづくり(文化、思想、考え方)。 2. 講義: 日本の品質管理・生産性管理(不良品をささない現場、現場の活性化、改善活動による予防保全 など)。 3. 見学: 事例研究: SS、KAIZEN実践工場、先端技術工場 など 4. 問題解決の決め方(アクションプラン作成)およびプレゼンテーションのやり方		
九州	集団	無	継続	C32	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	6	上	5/7	6/10	国立大学法人 九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	shiko.moriyama_153@kyushu-u.ac.jp	医師(内視鏡経験が1年以上で年齢55歳以下) 経験年数: 医学部卒業後3年以上経歴	大卒程度	3年	55歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	1. 講義: 最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学: 九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習: 結核モデルやタカラ切除了内視鏡を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加: 日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表: 病院内で研修内容を発表		
沖縄	集団	有	継続	C33	その他	沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトウェア活用と地域活性化	Effective use of soft power and regional revitalization through cultivation of Okinawan roots	12 (15名まで)	下	10/1	10/31	特定非営利活動法人レキオウイングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間 武志	KUSHIMA Takeshi (Mr.)	inf@lequiowings.org	沖縄県農人参加者や日本語学校関係者、地域社会のリーダー等、帰国後も積極的に活動する意欲のある方が望ましい。	大卒(相当)	不問	20歳~60歳	不問	通訳配置可能性有	沖縄のアイデンティティが強化され、沖縄のソフトパワーを活かした研修員所属日系地域の活性化が実現される。 ① ルーツとしての沖縄について理解が深まり、沖縄人としてのアイデンティティが強化される。 ② 地域のリーダーとして地域活性化のための企画力、実行能力が高まる。 ③ 沖縄の企業と中東米の日系企業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される。 ④ インターネットを用いて日本と自国の遠隔地間教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	行政: 沖縄県庁表取、沖縄県取組(「世界のウチナーンチュ大会」「世界のウチナーンチュの日」「沖縄21世紀ビジョン」等) 歴史・文化: 沖縄の歴史、伝統文化(エイサー、空手、工芸等) 観光: 観光資源の紹介、観光客の受け入れ、観光客の満足度の向上、観光客の満足度の向上 ④ 観光: 観光資源の紹介、観光客の受け入れ、観光客の満足度の向上、観光客の満足度の向上 ④ 観光: 観光資源の紹介、観光客の受け入れ、観光客の満足度の向上、観光客の満足度の向上	地の日系研修との連携あり 本研修と連携して実施される「地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化」コースとの連携による相乗効果を生み出す。一部共同で講義・実習を行う。	
沖縄	集団	無	継続	C34	民間セクター開発	沖縄のツーリズム・ストラテジー	Tourism Strategy of Okinawa	10	下	1/8	2/2	特定非営利活動法人レキオウイングス	Okinawa Environment Club	https://npo-oc.com/	金城 明子	KINAO Akiko(Ms.)	Akiko.Kinjo@npo-oc.com	必要資格: 観光業に携わっている。	不問	2	不問	日常生活程度以上(英語ができればおよい)	通訳配置可能性有	① 沖縄の観光の現状が理解される ② 観光客のニーズに対応した観光商品の開発が可能となる ③ 観光客のニーズに対応した観光商品の開発が可能となる	1. 講義: 沖縄観光の概要、マーケティングの基礎、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランド戦略、地域ブランディング、観光客のニーズの把握、観光客のニーズの把握、観光客のニーズの把握 2. 実習: マーケティングの基礎、那覇市内の観光実地研修、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランド戦略、地域ブランディング、様々な観光プログラム体験 3. 視察: 観光客のニーズの把握、観光客のニーズの把握、観光客のニーズの把握 4. 演習: プロジェクト・サイクル・マネジメント(課題の分析か解決手段の提案)、分析結果の発表と討論 発表: 内部および業界関係者		
沖縄	集団	無	継続	C35	農業開発・農村開発	地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化	Nikkei Agricultural community and network enhancement through "6th Industrialization" and "Smart farming" based on local branding experience in Okinawa	15名まで	下	10/1	10/31	特定非営利活動法人レキオウイングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間 武志	KUSHIMA Takeshi (Mr.)	inf@lequiowings.org	日系社会で農業に関する事業に携わっているもの	不問	不問	20歳~60歳	不問	通訳配置可能性有	① 地域ブランドを活用し、農産物に付加価値をつけ販売を行う6次産業化のノウハウが習得される ② AIやIoTを活用したスマート農業について理解が深まり、スマート農業に関する事業に携わっているもの	1. 講義: 地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業への取り組み「挑戦」を明確にし、その「挑戦」に対応する「戦略」を共有する。この「戦略」を十分に「実行」し、自国の日系農業コミュニティ「アクションプラン」につなげる。更に研修を通じて出会う人々と「ネットワーク」の構築を研修コースの運営方針とする。これを実現するための研修内容は以下のとおり。 1. 目標 1-1 沖縄県における地域振興とブランディング戦略を学ぶ 1-2 地域振興の発展から6次産業化のノウハウを習得する 2. AIやIoTを活用したスマート農業について理解を学ぶ 2-1 スマート農業で生産の安定化、効率化、収益向上に取り組む事例を知る 3. 沖縄の企業と中東米の日系企業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される 3-1 沖縄の企業が持つ優位性を認識する 3-2 沖縄県をはじめ、研修を通じて出会う多くの人々と人的ネットワーク構築について検討する 4. 沖縄の企業とのビジネスの可能性を含む自国の日系農業コミュニティ活性化事業が提案される 4-1 日系農業コミュニティ活性化を目指すプロジェクトの策定方法を習得する 4-2 自国で実施するアクションプランを策定する		
沖縄	集団	有	新規	C36	保健医療	SS-KAIZENを通じた病院における安全とサービスの向上	Improving safety and quality of services in hospitals through SS-KAIZEN	6	下	11/5	12/8	株式会社ティーエーネットワーク	TA Networking Corp.	http://www.ta-n.com/index.html	佐藤 結香	Sato Yuka	sato.yuka@t-n.com	・医師、看護師、薬剤師等の医療従事者・事務管理職(医療施設における管理者経験があるもの)もしくは、将来管理者として従事する可能性があるもの。 (帰国後から、所属先で中心となるSS-KAIZENの実施、普及を期待するため)	大学卒業程度 実務経験3年以上	応募時点で40歳以下	不問	不問	不問	1. 講義: SS-KAIZENにおけるマネジメント、SSの概要、院内感染予防からみたSS、院内感染対策、手指衛生、医療機械とSS、SSからKAIZENへKAIZENとは、KAIZENステップ、KAIZENツール、KAIZEN業務プロセスの復習し、問題分析と目的分析、バレットチャート、フィッシュボーンチャート、日本の保健医療制度、カイゼン病院院長、リーダーシップ講座、100人、メンタリング、バービゾン、モチベーション管理、モチベーショントレーニング(KYT)、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PDM)、チームビルディング、危険予知トレーニング(KYT)、360度評価、院内実施体制の構築、モニタリングシステム構築、チェックリストの活用 2. 実習: ジョブレポート作成(ポスター形式)、手指衛生、フロムフローとオブジェクトフロー、リモートセンシング、フィッシュボーンチャート、360度評価、チームビルディング、危険予知トレーニング(KYT)、具体的な実践計画の策定 3. 見学: 病院(SS-KAIZEN-TQM)の展開、情報管理システム管理、安全管理等 4. 実習: ジョブレポート(ポスター形式)、所属先におけるSS-KAIZEN事例紹介、具体的な実践計画の策定			
札幌	個別長期	無	継続	L1	保健医療	作業療法	Occupational Therapy	1	上	5/7	2/1	札幌医科大学	Sapporo Medical University	https://web.sapmed.ac.jp/	作業療法学科 学科長 仙石 泰仁	senzoku@sapmed.ac.jp	現地の作業療法士資格または理学療法士資格を有している者(学士又は同等程度の学力)	大学卒業程度	1年以上	不問	N3以上	英語でのコミュニケーション可	作業療法教育および臨床実践	1. 成人中枢神経障害、運動器障害、発達障害、精神障害に対する作業療法 2. 高齢者の在宅・施設生活の作業療法 3. 作業療法研究法	1. 講義: SS-KAIZENにおけるマネジメント、SSの概要、院内感染予防からみたSS、院内感染対策、手指衛生、医療機械とSS、SSからKAIZENへKAIZENとは、KAIZENステップ、KAIZENツール、KAIZEN業務プロセスの復習し、問題分析と目的分析、バレットチャート、フィッシュボーンチャート、日本の保健医療制度、カイゼン病院院長、リーダーシップ講座、100人、メンタリング、バービゾン、モチベーション管理、モチベーショントレーニング(KYT)、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PDM)、チームビルディング、危険予知トレーニング(KYT)、360度評価、院内実施体制の構築、モニタリングシステム構築、チェックリストの活用 2. 実習: ジョブレポート作成(ポスター形式)、手指衛生、フロムフローとオブジェクトフロー、リモートセンシング、フィッシュボーンチャート、360度評価、チームビルディング、危険予知トレーニング(KYT)、具体的な実践計画の策定 3. 見学: 病院(SS-KAIZEN-TQM)の展開、情報管理システム管理、安全管理等 4. 実習: ジョブレポート(ポスター形式)、所属先におけるSS-KAIZEN事例紹介、具体的な実践計画の策定	研修では医療機関での見学を含むため、来日する際には4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種、B型肝炎抗体検査が必要である	
札幌	個別長期	無	継続	L2	保健医療	理学療法	Physical Therapy	1	上	5/7	2/1	札幌医科大学	Sapporo Medical University	https://web.sapmed.ac.jp/	理学療法学科 学科長 渡邊 結太	wkoto@sapmed.ac.jp	現地の理学療法士資格を有している者(学士又は同等程度の学力)	大学卒業程度 実務経験3年以上	不問	不問	N2	不問	基礎的理学療法を理解し、日本における理学療法の役割や機能を説明できること。	1. 成人中枢神経障害、小児発達障害の理学療法 2. 運動器障害(スポーツ障害を含む)の理学療法 3. 地域における高齢者に対する理学療法サービス(介護予防を含む) 4. 理学療法研究法	1. 成人中枢神経障害、運動器障害、発達障害、精神障害に対する作業療法 2. 高齢者の在宅・施設生活の作業療法 3. 作業療法研究法	研修では医療機関での見学を含むため、来日する際には4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種、B型肝炎抗体検査が必要である	
札幌	個別長期	無	継続	L3	農業開発・農村開発	ドローン・GIS技術による自然資源管理手法	Natural Resource Management by using Drone, GIS technology	4	上	上半期いずれかで相談可		農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 小川 健太/教授 森 夏那	OGAMA Kenta(Mr) / MORI Kaori(Ms)	tech@rakuno.ac.jp	表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能なこと。リモートセンシングソフトの操作については問わない。	大学卒業程度	不問	不問	不問	英語でのコミュニケーション可	農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、GPS技術、マイクロリモートセンシング技術、ドローンの活用技術を習得する。	1. GIS技術: GISソフトArcGISの基本的な操作、応用方法を習得する。 2. GPS技術: GPSによる高精度計測、デジタルカメラとGPSを利用した地理管理、野生動物へ装着するGPSによる野生動物の行動解析方法を習得する。 3. リモートセンシング技術: ドローン、ErdasImagine、ENVI、SNAPなどリモートセンシングソフトを習得し、Sentinel-1、Landsat、AIOSなどの人工衛星画像や空中写真などから、緑地抽出手法、収量予測手法などを習得する。	環境空間情報学研究室、環境リモートセンシング研究室において開講している、基礎GIS、応用GIS、GIS-リモートセンシングによる空間情報の科学、リモートセンシング基礎演習など関連科目を履修するとともに、高精度GIS技術を習得する専門演習に参加し、技術の向上を図る。また、出身(地)の実地のGISデータ、衛星画像等を使い、ソフトの操作手法のみならず、帰国後にすぐに応用できるテーマを構築する。研究発表、学芸会等で発表する。また、実習・実地での現地での実践、今後の協働研修のネットワークづくりを行うとともに、GIS-リモートセンシングを活用した森林管理(REDU)や野生動物管理に関するJICA研修にも参加し、研究及び情報交流を図る。なお、GIS技術の習得は、ドローンの一部は帰国後に利用できるように、本学で提供する。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、来日がない場合は全ての研修内容をオンラインでも対応が可能である。また、本学では英語による講義も行われるため、必要最低限の日本語能力で十分である。	応募締切は5月末日コースの締切日です。
札幌	個別長期	無	継続	L4	栄養改善	食品科学と栄養管理	Food Science and Nutrition Management	2	上	5/7	3/5	農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 石井 智美	ISHI Satomi(Ms)	ishii@rakuno.ac.jp	食べること、料理、栄養について関心を持っていること。	不問	不問	不問	不問	不問	① 食品科学と栄養学の見地から、出身国に特有の栄養管理を行える力、技術を習得する。 ② 生活習慣病予防の見地から、帰国後活用できる栄養学、公衆衛生、食品衛生、栄養管理の知識を習得する。 ③ 日本の専門料理、家庭料理、日本の食文化を学ぶ。	1. 講義: ①日本産物の構成、②日本産物の材料(植物・無植物)、③日本産物の材料の扱い方、④都市空間への応用技術 2. 実習: 植物管理(剪定)の手法、竹垣の製作技術、土壌管理、分析法 3. 見学: 東京都内、京都、地方(石見県や鹿児島、鳥取県)の日本産物園	研修員の希望を聞き、より帰国後の仕事に生かせるプログラムを作成して進める。前半は大学の希望する技術、栄養学、料理管理、研究のゼミナール等に参加し、食、料理、栄養について広く学ぶ。後半はより関心のあふ分野に力点を置いて実習を進める。科学的な見地からの研究、栄養学、食生活の課題にも参加する。帰国後の栄養管理、料理講習会ができる力を身に付けることを目的とし、定期的に研修状況を把握、相談しながら研修を進める。計画的に各々の科学的な分析、衛生に関する研究を併せて実施することが可能で、各種の学会へ参加し見聞し、希望があれば研究発表の学会発表も行う。帰国後の各研修、調査の継続に向けての検討、準備を行う。	本研修はある程度までは英語、スペイン語で対応できますが、日本語を習得する意欲がある方を希望
横浜	個別長期	-	継続	L5	都市開発・地域開発	日本の伝統的造園施工技術	Traditional technology for construction of Landscape Architecture in Japan	1	上	上半期いずれかで相談可	来日日から約6か月後	学校法人 東京農業大学	Tokyo University of Agriculture Educational Cooperation	https://www.nodai.ac.jp/cip/	造園、園芸、農業、都市計画の研究・教育や職業に携わっている方	大学卒業程度	1	不問	不問	N2	英語でのコミュニケーション可	① 日本産物の構成、②日本産物の材料(植物・無植物)、③日本産物の材料の扱い方、④都市空間への応用技術 ② 植物管理(剪定)の手法、竹垣の製作技術、土壌管理、分析法 ③ 見学: 東京都内、京都、地方(石見県や鹿児島、鳥取県)の日本産物園	1. 講義: ①日本産物の構成、②日本産物の材料(植物・無植物)、③日本産物の材料の扱い方、④都市空間への応用技術 2. 実習: 植物管理(剪定)の手法、竹垣の製作技術、土壌管理、分析法 3. 見学: 東京都内、京都、地方(石見県や鹿児島、鳥取県)の日本産物園	応募締切は5月末日コースの締切日です。5月8日に来日の場合は技術研修期間は30までの予定です。6月及び7月末日となった場合も、同時に約6月の研修を実施いたします。			
横浜	個別長期	-	継続	L6	環境管理	家畜寄生虫および人獣共通寄生虫の診断予防技術	Diagnosis and control for epizootic and zoonotic parasitoses	2	上	5/7	2/6	麻布大学	Azabu University	https://www.azabu-u.ac.jp/en/ishb/	生物学の基礎知識を持つ者、畜産あるいは公衆衛生学に関心がある者、臨床検査技術や薬剤師の資格保持者等、口	※大学卒業程度 大学あるいは大学院を卒業している方。	不問	不問	不問	N4 ※一般的なコミュニケーション可能な方。	英語でのコミュニケーション可	1. 動物衛生および公衆衛生に関する知識の習得および寄生虫の診断・予防技術の習得 2. 動物および魚類の寄生虫の診断、治療、予防に関する知識、技術および考え方を習得し、これらを活用して、寄生虫予防対策に係る情報資源の作成・配信の方法を学ぶ。	1. 講義: 動物(魚類を含む)の寄生虫および人獣共通寄生虫の診断予防法、原虫、蠕虫、衛生駆除動物などの検出法などについて学ぶ。 2. 実習: (1)糞便内虫卵検査(浮遊法、沈澱法、定量的検査法) (2)虫培養(びん培養、濾紙培養、互換培養)、胃腸内線虫感染虫の形態による同定 (3)魚類寄生虫の観察と同定 (4)吸血性虫の観察、観察と同定: 肝臓、肺臓、腸臓、日本性吸血虫など (5)中間宿主体内の吸血性の魚類寄生虫: ミラジウム、スロシウム、レジア、セルカリア等 (6)家畜本質と駆除: ペネネン虫、拡張虫、単虫、多虫虫等。 (7)ダニ類の観察と駆除法と同定: マダニ、ヒゼンダニ、ワカモ、イエダニ等。 (8)節足動物の観察と駆除: クラミダ、ハダシメ、カ、シラミ等。 (9)寄生生物学的手法(POR、Real-time PCR、LAMP法)を用いた寄生虫の同定。 (10)寄生虫感染に対する宿主免疫反応の観察。 3. 見学: 家畜保健所、家畜診療所、食肉衛生検査所、水産試験場、大学の研究センター等。 4. 学会・セミナー: 国内学会参加、研究会のセミナー参加。 5. 発表: 学内あるいは国内の研究会や学会、最終日の研修報告。	研修受け入れ時期や期間については相談に応じる。申請書で2人を受け入れるとしているが、1人でも受け入れ可能。口			

2023年度日系社会研修研修コース一覧

研修センター	実施形態	修業年度 開講時期	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	人 数	受 入 上 下	来 日 日	修 了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当 者 名	NAME	E-mail	課題・資格・知識	学歴	経験 年 数	年 令	日本語 能力	英語 能力	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
52	四国	個別長期	無	継続	L16	地域開発・民間セクター開発	エコツーリズム産業における起業家育成	2	上	5/7	2/2	香川大学	Kagawa University	https://www.kagawa-u.ac.jp/	平見 尚隆	HIRAMI Naotaka (Mr)	hirami_naotaka@kagawa-u.ac.jp	大学でツーリズム或いは地域イノベーションなどを学習した経験があること、或いは、観光産業での実務経験があること。	大学卒業程度	2年	60歳以下	不問	日本語検定N2レベルが望ましいが、英語でのコミュニケーション能力がある場合(TOEIC 700点程度)は、必要要件とならない。	英語で分野コミュニケーション能力がある場合(TOEIC 700点程度)は、必要要件とならない。	研修を通じて得られるデータや知見に基づき、新規性のある自国のエコツーリズムを提案できるレベルの力量を備えていることを研修目的とする。その上で学内の発表イベントや6月16日のピッチイベントでの提案に対するフィードバックをベースに本国のエコツーリズムに関する事業提案のブラッシュアップを行う。研修終了時には自国の日系社会で共感を得られ、事業開始に結び付けることができるレベルの提案に仕上げたいことを目標とする。	本事業提案の受入代表者である平見(香川大学創造工学部教授)はスペイン語、英語(書き多読)が堪能であることから、大学で経験をとるべく、これら専攻のエコツーリズムスポットを数多く訪問し、本産業に関する調査・研究を行い、そのポテンシャルの高さを調査や論文を通じて紹介している。一方、平見は広島大学で6年程、産学連携やアントレプレナー教育に携っており、新たな産業構想のための教育に活用してきた。さらに10日自国視察期間がローバル・パートナーシップ研修プログラウ事業(2017年)から合計で16人のメキシコ人研修生を受け入れてきた実績がある(内4名は現在来日研修中)。日系社会研修事業では、この間に培われたアントレプレナー教育に関する調査やゼミを中心として、教育プログラムをベースにした事業提案を行う能力を身につけてもらう。その上で日本におけるエコツーリズムに対する情熱と実感を調査し、現地社会でのふるまきエコツーリズムを提案できる技術と力量を身につけていただく。帰国後は現地日系社会を巻き込み、事業の具体化を進めることで、形式にとらわれない実践的なネットワークの構築に結び付けていただく。	1.来年度同時期に予定されているJICA日皇親睦のグローバル・パートナーシップ研修プログラム事業とできる限り並行に行えるようカリキュラム日程を調整、研修員間のシナジー効果を出していく。 2.創造工学部 産学・メディアデザインコースのコンプレックスプログラミングゼミ生と交流する学生を日系研修員との協働が期待される。研究と同時に日本の文化や若い世代の考え方を知っていただく良い機会がある。 3.起業家を目指す学生クラブの各部長との関係も構築する。 4.エコツーリズムに関しては、香川大学の課長の遊覧及びゼミ形式での議論を進めていく。また、「新日本ガラパゴス研究会」メンバーとの討議を投げ、エコツーリズムに關しての理解を深める。 5.主として中西四国地方のエコツーリズムスポットを訪問し、日本のエコツーリズムの実態を調べてもらう。 6.Global First Penguin Club(GIPEO)のメンバーとのつながりを深め、コメントなどをもらいながら進めていき、研修終了時にはこのピッチイベントで発表を行うことを目標にする。	
53	九州	個別長期	無	継続	L17	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	1	下	下半期いずれかで相談可		国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/~imgd/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	phiko.moriyama_153@um.kyushu-u.ac.jp	医師(内視鏡経験が1年以上で年齢60歳以下) 経験年数:医学部卒業後2年以上	大卒程度	2年	60歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習得できる ・次世代型トレーニングモデルや新技術を用いた内視鏡のシミュレーション学習により、治療の内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画をネットワークを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義: 最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学: 九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 学会参加: 日本消化器内視鏡学会や日本消化器学会を中心とした学会、研究会への参加 4. 発表: 病院内で研修内容を発表、自国の所属施設と接続しての研修報告	応募締切は10月末日コースの締切日です。	
54	沖縄	個別長期	無	継続	L18	都市開発・地域開発	ウチナーネットワークを活用した持続可能なコミュニティ運営	2	上	7/23	1/23	一般社団法人世界若者ウチナーネットワーク連合会	World Youth Uchinanhu Association	https://wyua.okinawa/	比嘉 千穂	HIGA Chihoko (Ms.)	all@wyua.okinawa	日系社会で沖縄文化活動に携わっている。	不問	不問	想定年齢(20歳~40歳以下)	N3(同等レベル、会話力重視)	英語でのコミュニケーション	研修員がウチナーネットワーク継承にかかわる運営管理の手法などを習得する。	① 研修員に、世界のウチナーネットワークの全体像が理解される。 ② 研修員に、若者を対象としたアテンションの強化にかかわる企画力が習得される。 ③ 沖縄県内での地域活性化事例を参考に、帰国後の自国で実施可能なアイデアを考案する。 ④ 研修員が、帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1. 講義: ① 沖縄の歴史 ② 沖縄移民の歴史 ③ 世界のウチナーネットワークとは ④ フランチャイズとは ⑤ 企画力とは ⑥ SNS・動画配信の活用方法 ⑦ 研修員への期待 2. 実習・OJT: ① 世界のウチナーネットワーク・世界のウチナーネットワーク大会にかかわる多言語相談対応・情報収集・発信、世界若者ウチナーネットワーク大会と若者を対象としたアテンション研修への企画、ワークショップを企画・実施し、研修報告 3. 見学: 地団体の施設、活動(公的機関、民間)	本研修は、実習・OJTが中心となり相互の言語コミュニケーションが必須なため、その間にあれば、英語、スペイン語が活用できる。イベントポスターやSNSで使用するバナー制作等デザインに興味がある。	
55	札幌	個別短期	無	継続	S1	農業開発・農村開発	ドローン・リモートセンシング技術による持続型森林・農地管理手法	4	上	上半期いずれかで相談可		酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp/	教授 小川 健太/教授 森 夏郎	OGAMA Kenta (Mr) / MORI Kaori (Ms)	tech@rakuno.ac.jp	表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能なこと。(リモートセンシングソフトの操作については問わない)	不問	不問	不問	不問	英語でのコミュニケーション	農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、GPS技術、ドローン・リモートセンシング技術、ドローンの活用技術を習得する。	環境空間情報学研究室、環境リモートセンシング研究室、フィールド情報学研究室において開講している高度なGIS技術を習得する専門演習に参加し、技術の応用を。また、出身国(地域)の実地のGISデータ、衛星画像を使い、ソフトの操作方法のみならず、GISデータ収集・管理、また、GIS、リモートセンシングを活用した森林管理(伐採)や野鳥調査に関する実践研修も参加し、研究及び情報交換を図る。なお、使用する機器やトレーニングコース及びソフトの購入は、帰国後にも活用できるようなものが提供される。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、来日かかわない場合は全ての研修内容をオンラインでも対応可能である。詳しくは、様式-10E-mail: tech@rakuno.ac.jpに直接問い合わせください。	応募締切は5月末日コースの締切日です。		
56	札幌	個別短期	無	継続	S2	栄養改善	食品科学と栄養改善	2	上	6/18	7/19	酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp/	教授 石井 智美	ISHI Satomi (Ms)	ishii@rakuno.ac.jp	なし	不問	不問	不問	不問	N3	不問	栄養学的見地から日本の専門料理、家庭料理について学び、日本の食文化に対する造詣を深め、日常の食を介しての実践可能な料理講習会を運営できる技術を習得する。その料理講習会を通して、今日の日本の食における栄養について最新の知見も紹介出来る。日系社会の活性化に貢献できる力を身につける。	日本の食における特色として、食材の扱い方、味付けを科学的な見地から学ぶ。南米では日本の調味料がほぼ皆無で販売されていることから、身近な材料で原料の代用、工夫をする。具体的な方法(乾燥材の活用、乾物の取り扱い)を学び、日本食の味の再現、介護まで統合的な医療体制を学び、自国で活用するためのアクションプランを作成する。	研修員は本申請者の研究室に籍を置き、大学での研修である強みを生かして、調理学、食品など研修員が興味を持った講義を受けて知識を応用し、各様の専門演習に参加し、実地で行く。研修先は食品産業大学として食品工場で多くの専門実習施設を持っている。日本の食文化、健康、栄養に関する最新の知見を学ぶ。申請者の研究の発表、セミナーに参加し、学生とともに各様の講義実習を学ぶ。帰国後の具体的な活動計画を作成する。また、帰国後には、東京、奈良、大阪において食の研修旅行を行う。	日本語が少ししか話せなくても、日本の食に関する関心があれば、英語、スペイン語で対応可能です。
57	帯広	個別短期	無	継続	S3	保健医療	地域包括医療(看護と介護)	3	下	10/1	11/9	学校法人 日本赤十字学園 日本赤十字北海道看護大学	Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing	http://www.rchokkaido-cn.ac.jp/	辻 裕昭	TSUI Hiroaki (Mr)	tsuiji@rchokkaido-cn.ac.jp	医療関係機関に属する者(看護師・介護士)	高校卒業程度	3年	不問	N4程度	不問	医療専門用語の使用が想定されるため、必要に応じて通訳の配置を検討予定	① 研修員に地域社会における医療体制の全体像が理解される。 ② 妊産婦から産褥期の母子栄養および幼児期における保育への知識が習得される。 ③ 成年および老後の健康レベルに応じた適切な医療・介護ケアの技術・知見が習得される。 ④ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1. 講義: ①日本の地方都市における看護と介護の取り組み ②乳幼児から高齢者まで、健康状態に応じた適切なケアへの対応が可能となり、将来的な生産性の低下や死後ケア・老年の予防医療の促進、末期患者への緩和ケア等幅広い医療ケアから学ぶこととする。 2. 実習: 研修員の取組に活用している施設を分析し、日本の手法を活用した上でアクションプランを作成する。 3. 発表: 内部および研修関係団体・機関	本研修実施の意欲/現地日系社会への帰途効果 本研修は、日本の地方都市における地域包括医療への取り組みについて、講義、実習、視察を通じて、地域の総合的医療を目指す。地域医療に依る幅広い知見および技術を取得し、各国の実践により地方医療の基盤を構築すること、乳幼児から高齢者まで、健康状態に応じた適切なケアへの対応が可能となり、将来的な生産性の低下や死後ケア・老年の予防医療の促進、末期患者への緩和ケア等幅広い医療ケアから学ぶこととする。 当学は最先端技術協力にて、モデルを対とした介護研修を実施した経験と、関連機関とある北見赤十字病院にて実施したプログラムを対象とした末期患者への緩和ケアにおける医療教育を担当した経験とを有しており、また地域医療の中心としてオホーツク地域の医療機関、介護施設、実習が連携した研修の提供が可能であることから、地域包括医療に係る技術・知見を習得した人材を育成することが可能であり、研修員帰国後は即戦力として日系社会に貢献が可能である。	
58	北陸	個別短期	無	継続	S4	教育	「日系アイデンティティ調査・日系史教育教材作成」演習(その1)	2	上	5/7	7/18	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/eg/sie/	太田 亨	OTA, Akira (Mr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	日系文化継承教育に関わるが、今後必ずしも予定がある者	大学卒業程度	3年	N/A	N/A	N/A	日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などに関する理解を深め、質の高い日系文化継承教育教材を制作する。	・韓国・満洲・動員など、日本(特に金沢を含む北陸地方)だからこそ入手可能な視覚教材資料の探求と収集 ・教材制作に関する各種スキル(制作、編集、管理、更新方法など)の修得 ・研修員の指導対象となる日系子弟を想定し、学歴別実習や語学教育現場視察を通じて教育実践のスキルアップ ・日本文化、日本語、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解 ・研究発表のプレゼンテーション、あるいは研究レポートの日・英・西又は日本語での記述 ・ネットの活用により、修得した技術や成果を研修員の母国の日系社会で広く効果的に還元	1.講義: 日本文化概論、日本史、日本文化史、日本社会概論、日本伝統芸能概論 2.実習: 日本文化、社会プログラム、日本伝統芸能実習、等 3.実習: 人間社会学部地域教育実践演習、放送大学、石川県を始めた北陸各地の文化施設訪問(美術館、博物館、等) (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4.発表・セミナー、外部研修: (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わるものへの参加 最終発表: 学内で研修最終日に実施予定(開講式も兼ねる)	研究テーマについて事前に太田先生に相談すること。	
59	北陸	個別短期	無	継続	S5	教育	「日系アイデンティティ調査・日系史教育教材作成」演習(その1)	2	下	10/1	12/11	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/eg/sie/	太田 亨	OTA, Akira (Mr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	日系文化継承教育に関わるが、今後必ずしも予定がある者	大学卒業程度	3年	N/A	N/A	N/A	日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などに関する理解を深め、質の高い日系文化継承教育教材を制作する。	・韓国・満洲・動員など、日本(特に金沢を含む北陸地方)だからこそ入手可能な視覚教材資料の探求と収集 ・教材制作に関する各種スキル(制作、編集、管理、更新方法など)の修得 ・研修員の指導対象となる日系子弟を想定し、学歴別実習や語学教育現場視察を通じて教育実践のスキルアップ ・日本文化、日本語、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解 ・研究発表のプレゼンテーション、あるいは研究レポートの日・英・西又は日本語での記述 ・ネットの活用により、修得した技術や成果を研修員の母国の日系社会で広く効果的に還元	1.講義: 日本文化概論、日本史、日本文化史、日本社会概論、日本伝統芸能概論 2.実習: 日本文化、社会プログラム、日本伝統芸能実習、等 3.実習: 人間社会学部地域教育実践演習、放送大学、石川県を始めた北陸各地の文化施設訪問(美術館、博物館、等) (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4.発表・セミナー、外部研修: (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わるものへの参加 最終発表: 学内で研修最終日に実施予定(開講式も兼ねる)	研究テーマについて事前に太田先生に相談すること。	
60	北陸	個別短期	無	継続	S6	保健医療	医療(麻酔科)	2	下	10/1	11/2	金沢大学	Kanazawa University	https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/	谷口 巧	Taniguchi Takumi (Mr)	hpsom@adm.kanazawa-u.ac.jp	必要資格: 麻酔科専門医 ①(医師免許)取得済みであること ②50歳までの、将来性のある医師	大卒	6年	50歳まで	N3(絶対要件は無い)	要(研修に耐えうる英語力は必須)	同研修で得た知識や経験を当該地域一人一人の患者の全身状態、社会的特性に配慮しそれぞれに最適な医療を提供する計画と実行する能力の修得	①日本の麻酔科管理の全体像を理解する ②日本の麻酔科管理の技術・知見が習得する ③①、②を基に、自国で応用可能な技術・手法等を整理する ④帰国後の具体的な活動計画を作成する	1. 講義: ①日本における麻酔科管理の現状 ②麻酔科管理の実態 ③麻酔科管理(麻酔、集中治療、緩和ケア)の知識、手法 2. 実習: ①研修員が研修コースや呼吸療法コースに参加させる。 ② 実習: ③ 演習: ④ 演習: ⑤ 演習: ⑥ 発表: 内部	研修において臨床実習は行わない。 ※選考書類以外の提出物 研修開始し、来日前に抗体価がわかる書類の提出を必要とし、開院が定める基準に満たない場合、ワクチン接種の上、接種証明書の提出を必要とする。(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎) https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/ https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/doc/intern/08_uyou2021.pdf	

2023年度日系社会研修研修コース一覧

所管センター	実施形態	修業年度	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	人数	受入 期	上 下	未 日	修 了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験 年数	年齢	日本語 能力	英語 能力	①目標	②成果	③計画(内容)	備考		
74	四国	個別短期	無	継続	S20	自然環境 保全	Research and edification on bio-composite materials in cold weather aiming the conservation of natural environment	2	下	下	下半期い ずれかで 相談可	1/26	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎 和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	hasezaki@tokushima-u.ac.jp	理系大学在学中または卒業	大学卒業程度	不問	不問	不問	不問	全世界で自然環境保全を目指すバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得ること。さらに、徳島大学での先進技術を知ること。自然環境保全を目指すバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること。	1.石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2.石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3.最新のバイオ材料の研究動向を知ること 4.自然環境保全を目指すバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1.調査、教員から個別のレクチャー、学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出および解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。大学院進学が可能なように研究指導を行う。 2.試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3.試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4.分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 5.解析・まとめ：分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	・応募締切は10月末日コースの締切日です。		
75	四国	個別短期	無	継続	S21	自然環境 保全	Research and edification on bio-composite materials under high-temperature and humidity aiming the conservation of natural environment	2	上	上	上半期い ずれかで 相談可	9/15	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎 和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	hasezaki@tokushima-u.ac.jp	理系大学在学中または卒業	大学卒業程度	不問	不問	不問	不問	全世界で自然環境保全を目指すバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得ること。さらに、徳島大学での先進技術を知ること。自然環境保全を目指すバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること。	1.石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2.石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3.最新のバイオ材料の研究動向を知ること 4.自然環境保全を目指すバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1.調査：教員から個別のレクチャー、学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出および解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。自ら最新の研究動向を情報収集することで、大学院進学が可能なように研究指導を行う。 2.試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3.試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4.分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 5.解析・まとめ：分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は5月末日コースの締切日です。		
76	四国	個別短期	無	継続	S22	社会保障	地域包括ケアシステムと在宅医療	Community-based integrated care systems and home health care	2	下	下	11/5	12/1	医療法人ゆうの森	Medical Corporation "Yuu no Mori"	http://www.tampogo-clinic.com	木原 信吾	KIHARA Shingo (Mr)	kihara@tampogo-clinic.com	日系社会で医療・保健・福祉分野に従事する者	不問	不問	不問	N3	不問	患者中心の視点で「生活の中の医療」「病棟ではなく人を見る」を心がけ、患者のニーズに応じた医療システム、在宅患者やご家族がご自宅まで過ごすための必要な知識、技術、支援方法を習得する。加えて、地域で最期まで安心して暮らす様々な仕組みやシステムについても施設やサービスの見学あるいは体験を通して学ぶ。併せて在宅医療を通じて、最期まで安心して暮らすことの出発点となる地域共生生活を事例から理解する。	1. 日本の高齢者福祉制度の全体像が理解される。 2. 日本の在宅医療の技術・知識が習得される。 3. 前2項を元に、自国で応用可能な介護技術・知識を整理する。 4. 高齢者施設の運営、管理について理解する。 5. 高齢者用住宅の利便性について理解する。 6. 高齢者に残されている力を使うケアについて理解し、応用できることを計画する。 7. 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための包括的な地域医療（訪問医療・看護・リハビリ・介護等の包括的役割）を理解する。 8. へき地の診療所の取組みや地域との関わり方を理解する。 9. 帰国後の具体的な活動計画を作成する。	【内容】 1. 講義 1) 高齢社会を支える在宅医療 2) 高齢者ケア 3) 在宅緩和ケアシステム 4) 地域包括ケアシステム 2. 実習 訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、鍼灸マッサージ、訪問介護などへの同行 3. 見学 1) 在宅医療支援病院ホスピス・緩和ケア病棟 2) 高齢者施設、高齢者賃貸住宅 3) 訪問看護、介護ステーション 4) へき地の診療所の取組みと地域医療（後援診療所） 4. 演習 企画している問題を分析、日本の手法の適応を検討、帰国後の活動計画の作成 5. 発表 成果報告会 【カリキュラム】 以下のカリキュラムにおいて、研修内容の充分な理解と習得が行われることを目指します。 1. 在宅医療全般についての講義と在宅での臨床研修 2. 在宅ケア（緩和ケア）についての講義と当該患者様宅での臨床研修 3. 在宅での看護、リハビリ、介護、鍼灸マッサージ等の臨床研修 4. 地域医療とフィールドワーク（後援診療所） 5. 医療連携、介護連携による地域包括ケアの講義と見学研修 6. 高齢者施設の見学研修		
77	四国	個別短期	無	継続	S23	地域開発	よさこい踊り子チームのマネジメントを通じた日系社会の活性化	Japanese Community Revitalization through the Management of Yosakoi Dancers team	1	下	下	1/8	2/2	高知希望工程基金会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中 茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	chinatu6732@ybb.ne.jp	日系社会でのよさこい踊り子チームマネジメントを期待できる人材	不問	不問	不問	不問	●現在所属するよさこい踊り子チームの総合的なマネジメント力のレベルアップを図る ●研修成果物であるよさこい踊り子の衣装、音楽、囃子、旗付を活用したアクションプランを制作する ●日本のよさこい祭り関係者との連携を通じて、現地チームの持続可能な運営サポート体制を構築する	●現在所属するよさこい踊り子チームの総合的なマネジメント力のレベルアップを図る ●研修成果物であるよさこい踊り子の衣装、音楽、囃子、旗付を活用したアクションプランを制作する ●日本のよさこい祭り関係者との連携を通じて、現地チームの持続可能な運営サポート体制を構築する	1. 講義：「よさこい祭り」とよさこい踊り 踊りの歴史と変遷 2. 視察：囃子制作現場、よさこい衣装制作現場、よさこい音楽セレクト現場、よさこい舞台レクチャー現場、高知よさこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館、龍馬の生れた町記念館 3. 発表：日系社会の現状（カンタリーレポート）、アクションプラン（研修成果報告） 4. その他：ホームビジット、地元青少年国際交流団体			
78	四国	個別短期	無	継続	S24	教育	言語と文化の継承と教育技術向上実践	A Skill-Building Program for the Inheritance and Education on Indigenous Languages and Cultures	2	上	上	5/7	6/6	高知県立大学	University of Kochi	https://www.u-kochi.ac.jp/	向井 真樹子	MUKAI Makiko (Ms)	mukai@cc.u-kochi.ac.jp	日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 日本語・日本文化を学び直したい方は、特に資格を問わない。	不問	実務経験1年以上	不問	N3	不問	①地域の歴史、文化、慣習、言語(方言)の継承とその教育方法の技能習得並びに日本の言語指導教育に関する知識の習得と実践 ②文化の継承を担う教師としての実践技術 ③文化と言語の記録のための理論と技能	1. 日系日本語担当教員としての専門知識と実践力の向上 2. 日本語と日本文化を学び直したい方、または日系日本語担当教員としての専門知識と実践力の向上 3. 1日の振り返り、日本人学生・留学生との討論、成果発表、意見交換			
79	九州	個別短期	無	継続	S25	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	上	上	上半期い ずれかで 相談可		国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	phiko.moriyama_153@um.kyushu-u.ac.jp	医師（内視鏡経験が1年以上で年齢60歳以下） 経験年数：医学部卒業後2年以上かつ臨床経験2年以上	大卒程度	2年	60歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習得できる ・次世代型トレーニングモデルや鏡切除を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：模擬モデルやブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：病院内で研修内容を発表	応募締切は5月末日コースの締切日です。	
80	九州	個別短期	無	継続	S26	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	下	下	下半期い ずれかで 相談可		国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	phiko.moriyama_153@um.kyushu-u.ac.jp	医師（内視鏡経験が1年以上で年齢60歳以下） 経験年数：医学部卒業後2年以上かつ臨床経験2年以上	大卒程度	2年	60歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習得できる ・次世代型トレーニングモデルや鏡切除を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：模擬モデルやブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：病院内で研修内容を発表	応募締切は10月末日コースの締切日です。	
81	九州	個別短期	無	継続	S27	農業・農村開発	グリーンツーリズム	Agri-tourism (Green tourism)	3	下	下	10/1	11/1	鹿児島国際交流促進センター	Kagoshima International Exchange Promotion Agency	http://kapij.jp/	渡邊 洋子	WATANABE Yoko (Ms)	kapij14@bo3.synapse.ne.jp	グリーンツーリズムの実践者である人、農・林・漁業関連の仕事を担っている人、または日系社会で婦人会内などの地域活動をしている人	高卒程度	3年	特に指定なし	N3	英語でのコミュニケーション可	グリーンツーリズムについての総合的な知識を得、どのようなものであるか理解し、多様な形態や手法・技術を習得する	1. 講義：グリーンツーリズムの意義、日本（鹿児島）におけるグリーンツーリズムの現状と課題、農村女性の活用、グリーンツーリズム経営とリスクマネジメント、環境保全 2. 実習：グリーンツーリズムの事例（農業体験、農産物加工体験、自然体験、農家民泊） 3. 視察：グリーンツーリズム関連施設、観光施設 4. 意見交換：グリーンツーリズム実践者、関係者との意見交換 5. 発表：研修成果発表			
82	沖縄	個別短期	無	継続	S28	都市開発・地域開発	建築設計(意匠・構造及び設備)	Architectural Design (Design/Structural and Equipment)	2	上	上	6/18	7/17	株式会社員志堅建築設計事務所	Gushiken Architectural Engineering Co., Ltd. Ginosen Branch Office	https://gushikena-e.net/	城間 俊	SHIROMA Shigeru (Mr.)	suguru.shiroma@gushikena-e.net	大学の建築学科都市計画課の卒業生	大学卒業程度	大学3年以上	想定年齢30歳以上	日本語ができれば望ましいが、英語能力があれば対応可能	英語でのコミュニケーション	建築の設計・施工に関する、建物の機能性、安全性、適正な避難計画、耐震・環境対応策、これらに関する設備計画、また施工管理において基本的技術を習得する。	1. 日本における建築設計の基本的な技術全般を習得する。 2. 建築に対する建築的アプローチを日本のOASBや米国のLEEDから学習する。 3. その地研員の希望する意匠計画、構造計画設備計画の研修を行い、必要な知識を取得する。	建築設計・施工に必要となる技術を以下の研修内容で習得する。 1. 当社社員による各分野の講義にて、必要な知識を習得する。 2. 当社が抱える工事現場へ向かい、生の日本の工事技術・環境に触れる。 3. 当社が行った実績（施設）の見学、史跡や有名施設の視察を通じ、沖縄の環境と土台とした建築の成り立ちを習得する。	提案企業は、2015年から当該研修を実施。日系人をはじめ外国人職員も多く、JICA研修員受入に加え、福大留学生を対象としたプログラムを英語/西語で実施している。建築、土木、電気設備に係る設計・施工をメインとした建築設計事務所であり、米軍からの受注も多く、技術的専門性、外国人を対象とした研修実績も多く、日系研修を支える重要な地域リソース。	
83	沖縄	個別短期	無	継続	S29	農業開発・農村開発	花卉園芸の栽培技術及びフラワーアレンジメント技術研修	Flower gardening cultivation technology and flower arrangement technology training	3	下	下	10/1	12/22	農業生産法人ANDES farm合同会社	ANDES farm Inc.	なし	伊藤 裕美子	IGEI Yumiko (Ms.)	andesnouer@gmail.com	農業に関心がある者	不問	不問	不問	不問	日常会話で可能な程度(N5)	不問	研修員が自国での花卉園芸の発展に貢献できる人材となるよう花卉園芸に関する基礎的な栽培技術を習得し、農業経営の発展に寄与する事を習得する。ピクニック等親子植物の栽培方法を習得する。フラワーアレンジや花束等技術を習得する。	1. 植物の育て方を習得する。 さし木、取り木、挿し木、挿し木等の技術を向上する 2. 経営管理能力を習得する。 3. 販売方法を習得する。フラワーアレンジ、生け花を体験。 4. 農業全般を体験し、帰国後、実践的な事業計画を作成する。	1. 講義・実習・視察 ・(講義) 植物による育苗・育ての違い ・(実習) 肥培管理の技術の習得 ・(実習) 栽培管理の技術の習得 ・(実習) 親子栽培の習得 ・(実習) フラワーアレンジメント、 (視察) 農産物の加工施設等の視察 ・(視察) 植物園、観光農園等の視察 ・(視察) 直売所、道の駅等の視察 (その他) 農業大学校、先進農家等の情報交換	